



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社 アマナ
 コード番号 2402 URL <https://amana.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 進藤 博信
 (氏名) 石亀 幸大
 TEL 03-3740-4011

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	16,631	8.5	234		305		434	
2018年12月期第3四半期	15,325	0.7	129	54.1	39	64.8	328	

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 408百万円 (%) 2018年12月期第3四半期 317百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	87.31	
2018年12月期第3四半期	65.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	11,662	1,429	11.2
2018年12月期	12,537	1,837	13.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 1,304百万円 2018年12月期 1,726百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期については遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期の配当予想は現時点では未定です。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500 ～24,700	5.4 ～10.8	800	45.4	600	35.6	220	936.4	44.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	5,408,000 株	2018年12月期	5,408,000 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	435,267 株	2018年12月期	435,267 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	4,972,733 株	2018年12月期3Q	4,972,739 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、写真・CG・動画・イラストレーションなど視覚から訴求するものをビジュアルと総称し、これら「ビジュアルの企画制作」及びそれらのビジュアルを活用するウェブ、TVCM、イベントなど企画から制作までを一貫して行う「コンテンツの企画制作」を通じ、お客様のモノ（商品）やコト（サービス）の付加価値を可視化しコンテンツ化する企業集団です。

当社グループでは、「中期経営計画 | 前期」において、メディアの多様化による事業環境の変化に柔軟に対応するため、ビジネスモデルの変革を進めました。2017年を初年度とする「中期経営計画 | 後期」においては、労働集約型から知恵集約型モデルへの転換を図るため、

- ・acp（注1）を進化させたプラットフォームの構築
- ・VHL（注2）マネジメントの推進
- ・インバウンドマーケティングの加速

を推し進めて、一人ひとりの生産性の向上による収益力の強化を目指しております。

（注1）amana creative platform：クラウド型のクリエイティブプラットフォーム

（注2）Vertical & Horizontal Line Management System：縦軸の営業組織と横軸のクリエイティブサービス別組織による管理

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しなどを背景に、緩やかに回復が続いております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、企画から制作までを一貫して行うコンテンツの企画制作案件を中心に伸長し、16,631百万円（前年同期比8.5%増）となりました。また、当第3四半期連結会計期間における国内の受託制作の受注も堅調に進捗しました。一方で、事業付加価値額（売上高－外注原価）は、映像企画制作・TVCM企画制作など比較的外注比率の高いサービスの売上高の構成比が増加したことや、外注費の最適化施策の効果が十分に顕在化していないことなどにより、8,683百万円（前年同期比5.5%増）と売上高と比較して緩やかな成長に留まりました。販売費及び一般管理費については、継続的に推進している人員拡充の過程において、給与等の人件費が増加したことや、前第3四半期連結会計期間から本格稼働を始めた新オフィス「PORT（ポート）」に係る設備関連費の増加もあり、7,124百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

以上の結果、営業損失は234百万円（前年同期は営業利益129百万円）となりました。さらに、持分法投資利益などによる営業外収益72百万円、支払利息、シンジケートローンコミットメントライン更新に係る費用などによる営業外費用143百万円を計上し、経常損失は305百万円（前年同期は経常利益39百万円）となりました。また、海外連結子会社における自主修正申告納税を経た結果として、未払延滞税取崩額50百万円を特別利益に計上した一方で、固定資産除却損などによる特別損失20百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は434百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失328百万円）となりました。

当社グループはビジュアルコミュニケーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は11,662百万円（前連結会計年度末比874百万円減）となりました。これは、主として現金及び預金が392百万円増加した一方、売上債権が1,214百万円減少したことによるものです。

負債は10,233百万円（前連結会計年度末比466百万円減）となりました。これは、主として長短期借入金が増加した一方、仕入債務が487百万円、未払金が419百万円減少したことによるものです。

純資産は1,429百万円（前連結会計年度末比408百万円減）となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純損失434百万円を計上したことによるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年2月19日に発表しました予想から変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,601,955	1,994,201
受取手形及び売掛金	5,538,081	4,323,213
たな卸資産	796,287	828,960
その他	539,968	415,192
貸倒引当金	△91,049	△94,673
流動資産合計	8,385,243	7,466,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,524,095	1,614,974
リース資産(純額)	156,325	169,422
建設仮勘定	91,323	32,602
その他(純額)	736,552	801,352
有形固定資産合計	2,508,296	2,618,352
無形固定資産		
ソフトウェア	554,660	476,331
のれん	352,473	339,751
リース資産	974	—
その他	108,312	98,232
無形固定資産合計	1,016,422	914,315
投資その他の資産		
投資有価証券	133,481	178,080
長期貸付金	10,160	38,000
差入保証金	254,453	249,127
繰延税金資産	105,556	94,806
その他	123,448	102,998
投資その他の資産合計	627,099	663,012
固定資産合計	4,151,818	4,195,680
資産合計	12,537,062	11,662,574

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,203,658	1,715,894
短期借入金	3,736,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,283,146	1,060,610
リース債務	47,376	51,671
未払金	818,837	399,779
未払法人税等	101,932	55,850
賞与引当金	214,507	225,268
その他	521,398	513,705
流動負債合計	8,926,855	7,022,780
固定負債		
長期借入金	1,223,148	2,651,935
リース債務	123,956	131,824
資産除去債務	388,415	392,909
その他	37,192	33,811
固定負債合計	1,772,713	3,210,481
負債合計	10,699,569	10,233,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,097,146	1,097,146
資本剰余金	1,334,988	1,334,988
利益剰余金	△425,815	△859,989
自己株式	△304,196	△304,196
株主資本合計	1,702,122	1,267,948
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	24,267	36,327
その他の包括利益累計額合計	24,267	36,327
非支配株主持分	111,103	125,036
純資産合計	1,837,493	1,429,312
負債純資産合計	12,537,062	11,662,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,325,612	16,631,066
売上原価	8,935,897	9,740,823
売上総利益	6,389,714	6,890,243
販売費及び一般管理費	6,259,716	7,124,581
営業利益又は営業損失(△)	129,998	△234,338
営業外収益		
受取利息	1,889	1,086
受取配当金	800	—
為替差益	1,819	—
還付消費税等	11,844	8,429
受取保険金	5,360	5,708
持分法による投資利益	—	43,607
その他	10,517	13,739
営業外収益合計	32,232	72,571
営業外費用		
支払利息	60,479	66,883
為替差損	—	36,281
持分法による投資損失	15,546	—
シンジケートローン手数料	23,900	18,100
その他	22,867	22,273
営業外費用合計	122,793	143,538
経常利益又は経常損失(△)	39,437	△305,304
特別利益		
投資有価証券売却益	29,160	—
未払延滞税取崩額	—	50,156
特別利益合計	29,160	50,156
特別損失		
固定資産除却損	6,093	14,851
延滞税	37,422	5,915
過年度決算訂正関連費用	173,569	—
その他	3,005	129
特別損失合計	220,090	20,896
税金等調整前四半期純損失(△)	△151,492	△276,045
法人税、住民税及び事業税	129,535	133,444
法人税等調整額	39,083	10,750
法人税等合計	168,619	144,194
四半期純損失(△)	△320,111	△420,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,950	13,933
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△328,061	△434,173

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△320,111	△420,240
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,683	11,376
持分法適用会社に対する持分相当額	390	683
その他の包括利益合計	3,073	12,060
四半期包括利益	△317,038	△408,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△324,988	△422,113
非支配株主に係る四半期包括利益	7,950	13,933

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。